

2022 年度新人養成講座開講、24 名が受講

当会主催の 2022 年度「はままつ案内人新人養成講座」が 24 名の受講者の参加 (男性 15 名、女性 9名)で可美公園総合センターの研修室で1月16日(月)から始まりました。毎週月曜日の午前10時か ら 12 時までのスケジュールで、全 6 回開催されます。今月号では第 1 回から第 3 回の講座の内容を掲 載します。



新人会員研修会風景

【第1回・1 月 16 日(月)】最初に鈴木会長からの挨拶で 「当会は自由に運営されており、一期一会の面白い会ですの で安心してガイドの会に参加してください」との話がありま した。続いてアイスブレイクとしてグループに分かれて参加 者同士で自己紹介を行いました。緊張がほぐれた後に南ブロ ック長の古本俊夫さんより当会の概要説明がありました。観

光ガイドはお客様に浜松のことを紹 介して楽しんでいただくことが大切





との話をしました。続いて、先輩会員二人の話がありました。最初は西ブロ ックの鈴木良隆さん(24期)から、初めてまつり会館で小学生を対象にガイ ドをした時の体験談がありました。また、感謝・気遣い・浜松再発見を感じ た一年だったとの話がありました。南ブロックの橋本信吾さん(15 期)から 鈴木良隆さん 橋本信吾さん

は、4 か月の見習い期間の中で、自分の言葉で案内することを心がけて自分の形を作るこ との大切さを学んだとの経験談をとりあげていました。

次に古本さんから「ボランティアガイドの意義と魅力」と「マナー (基本)」につい て、接客の5原則、身だしなみ・話し方・表情・挨拶・態度をいつも忘れないように心掛 けることの大切さについて話がありました。

引き続き、「天竜川の河岸段丘」についてブラタモリの放映時の説明を 引用しながら、実は天竜川が浜松を作ったとの地勢的な話をしました。

【第2回・1月 23日(月)】昨年に引き続き浜松市文化財課の和田達也氏 に「**浜松の歴史と魅力**」をテーマに特別講義をしていただきました。前半 は浜松市の概要から始まり、豊富な文化財・歴史文化の特徴を専門的な観 点からお話ししてくださいました。後半は浜松城の歴史で、「①重層的な 歴史がある②有名な登場人物③織豊系・近世城郭の教科書のような城④石 垣⑤地中には城の証拠が埋まっている⑥まだわからないことが多い」とま とめてくださいました。



和田氏の特別講義の様子

【第3回・1月30日(月)】

1月度最後の講義は、前半は「浜松在城期の家康」を谷晃さん(18 期、西ブロッ ク)から三方ヶ原、高天神城、長篠・設楽ヶ原、小牧・長久手の戦いについて古戦城 跡の実際の写真を交えながら貴重な説明がありました。後半は「浜松城内展示」につ いて益田啓子さん(15期、北ブロック)より、陳列された具足の数え方からいつの時 代に身に付けていたものかなど城内の展示物一つ一つについて貴重な解釈を交えなが ら丁寧に分かり易く説明しました。

全6回の最後までこの新人研修会を受講していただき、一人でも多く会員になられること を希望します。



谷晃さん



益田啓子さん

浜松城&駅インフォメーションセンター改装完了

昨年末に浜松城と JR 浜松駅構内の浜松市インフォメーションセンターの改装工事が完了しました。 浜松城の天守閣は昨年8月から12月の間は足場を組みカバーされていて外観を見ることができませ んでした。今回の改装工事で外壁を再塗装しましたので白黒のコントラストがはっきりしました。ま た金具類は金色に輝いて以前よりも立派に見えます。3 階の展望台は金網を撤去して眺望が良好にな り、写真撮影の際にも邪魔ものが無くなりました。2 基の望遠鏡も新品に更新されました。

浜松市インフォメーションセンターは展示コーナーが従来の「井伊直虎」に「徳川家康公」が追加 されました。また、入口左側には案内カウンターが新設されて、2 名の職員が追加されました。主に 大河ドラマ関連の案内と前売り券販売等を担当するとのことです。









インフォメーションセンター(左)徳川家康公の展示

"どうする家康 浜松大河ドラマ館"プレオープン

家康公が築き、天下統一への足掛かりと なった浜松城の浜松出世パークに1月22日 (日)に「どうする家康浜松大河ドラマ館」 がプレオープンしました。元城小学校跡地 の「浜松出世パーク」内にはドラマ館と併 せて「家康 SHOP、インフォメーション」 「遺構(石垣、二の丸御殿)」も同時にオ ープンしました。ドラマ館内は「歴代大河 ドラマが描いた徳川家康展」として「歴代 大河ドラマパノラマ年表」「歴代大河が描



オープン日は多くの入場者で大盛況

二の丸御殿の遺構展示場所では現地体験型周遊アプリ

いた徳川家康|「シアター・歴代家康スペシャルダイジェスト|「どうする家康・番組紹介」などで す。歴代 61 作品中 25 作品でさまざまな名優たちが家康役をどのように演じたかを知ることができ ます。見覚えのある家康の衣装や甲胄の展示もあります。



ドラマ館内のパネル展示

「ストリームミュージアム」を インストールして、スマートフ ォンの画面で二の丸御殿・枯山 水庭園を見ることができます。 浜松城俯瞰や天守門の古い建物 も見ることもできます。今後、 犀ヶ崖古戦場、二俣城、鳥羽山 城の VR(仮想現実)も3月に 公開予定とのことです。この VR は 6 年前の直虎の時には専



二の丸御殿の仮想画像

用の映像装置でしか見ることができなかったものが、今日ではスマホアプ リで全国各地の城を簡単に見ることができ、便利な世の中になりました。

プレオープンは 2 月末までです。3 月 1 日(水)から 3 月 17 日(金)までは展示入れ替えのため休館し て、3月18日(土)にグランドオープンします。

徳川十六将ってどんな人 (内七将について)



鳥居彦右衛門元忠

1539 年松平氏の家臣・鳥居忠義の三男として 三河国渡に生まれる。13 歳の時父・忠吉に付き 添われ駿府の 10 歳の竹千代 (家康) に仕え

1575 年諏訪野原合戦では武田方の鉄砲により左の股を貫通され、歩行に支障をきたすよう になる。1600年関ヶ原の前哨戦となる西軍の伏見城攻めには1,800人の守将となり戦うが

雑賀重友に首を打ち取られる。その首は大阪京橋口にさらし首になるが、京都の商人佐野四郎右衛門 が夜半持ち去り知恩院に葬られる。





松平源七郎康忠

長沢松平 8 代当主。母親が家康の祖父・松平清康 の息女・碓井姫で、家康の従弟であり、義弟である。 1560 年桶狭間の戦いで父親の松平政忠が討死、母

■親の碓井姫は徳川の重臣酒井忠次へ嫁ぎ再婚する。15 歳の時、家康の御前で元服、諱を 賜り康忠と名乗る。1570年姉川の戦い、1575年長篠の戦いに義父の酒井忠次に従い参加し功績をあ げる。1581 年信康のもとで家老職を務めていたが、信康の自刃により蟄居する。1599 年京都で死去。 埋葬の地は定かでない。



大久保七郎右衛門忠世

1532 年徳川氏家臣・大久保忠員の長男 として三河国上和田に生まれる。家康より 10 歳年長。典型的な戦国武将。

1567 年御旗本先手侍大将に任じられる。1573 年三方ヶ原の戦いでは、家康より御旗 3 本賜り犀ヶ崖の西に御旗を立て敗走してくる味方の兵を集め、攻めてくる敵兵に鉄砲で防

戦する。犀ヶ崖の敵陣を天野康景と共に闇夜の中銃撃して混乱させ、浜松城攻めをくいとめる。1590 年小田原城攻めで功労あり、秀吉より小山城を賜る。その後、家康関東移封の時小田原城を賜る。63 歳小田原城にて死去。





平岩主計頭親吉

1549年8歳の時、家康が人質として駿府に行くと き小姓として従う。家康とは同年だったので苦難時 代家康と共に遊び相手でもあり学友・家臣として始

■終寝食を共にした。家康の嫡男・松平信康が元服すると傅役として信康を補佐する。

1579 年信長の命で信康二俣城にて切腹する事件があり、親吉が自分の命をもって食い止めようとし たができず自宅に籠る。65歳の時、信長より水野信元を殺せと命が下る。家康はしばらく匿うが信長 の怒りが収まらず密旨を受けた親吉が信元を殺害する。1607年尾張徳川義直の付家老となる。1611 年病にかかり私邸に戻り亡くなる。





服部半蔵正成

1547年家康の父・広忠に仕える半蔵保長の五男とし て誕生。松平氏の譜代家臣で、鬼の半蔵で異名をとる。 実戦では、家康より預けられた伊賀衆と甲賀衆を指揮

していた。家康の独立後、配下の伊賀同心 50 人と共に三河家臣団入りし、常に側近として小牧・長久 手の戦い、関ヶ原の戦い、大阪冬・夏の陣にも参戦した。1582 年伊賀越えの時、案内役を引きうけ見 事脱出に成功する。この時から家康は、半蔵たち忍者の存在に注目する。1590年家康江戸入りの際八 千石拝領し、与力30騎、伊賀同心200人を支配する。55歳で死去、安養院に葬られる。





大久保治右衛門忠佐

1537年大久保忠員の次男として三河国上和 田に誕生。父と兄・忠世と共に松平広忠、家 康に仕えた。武勇に優れ戦場での活躍でも生

🌌 涯無傷であった。1575 年長篠の戦いでは兄・忠世と二手に分かれ鉄砲の弾を交互に打ち 勝頼軍を破る。この時、信長が忠佐の活躍を見て「髭多き武将は誰か?」と尋ね、その武勇を誉める。 その後、「長篠の髭」と伝わる。





蜂谷半之亟貞次

1601年茂原を攻め駿河国沼津城を領す。77歳沼津 城で死去。その後、跡取りの子がなく家が絶える。 1539 年三河国六名村生まれ。家康より 3 歳年長。

1560 年桶狭間の戦いで家康に従い織田方の佐久間盛重の守る丸根砦を攻める。岡崎城に織

田方が攻め込むが石瀬で待ち伏せし手柄を立てる。1563年三河一向一揆では家康に背き一揆側に加担す るが、大久保忠俊に説得されて帰順する。1564年吉田城攻めで敵の鉄砲弾による傷が癒えず死去する。 *参考文献「寬政重修諸家譜」、浜松市立図書館他 北ブロック 益田啓子

会員の交流広場

堀尾吉晴と国宝・松江城

もう4年も前の事になりますが、この会に入ってそろそろ10年が経過していました。浜松城は松江城を模して昭和33年に建てた話をするにつけ、やはり一度は松江城に足を運びたいと考えていました。そんなことで若い頃住んでいた広島に出向き友人夫婦たちと合流し、高速バスで島根県へと出かけることにしました。

松江城はボランティアガイドをお願いし、待ち合わせ場所として大手門前の堀尾吉晴公像前にしました。「松江の開府の祖」と地元では呼ばれています。関ケ



松江城



堀尾吉晴公像

ない堀尾家は断絶し、京極忠高 (妻は徳川秀忠の四女・初) 一代、その後信濃松 本から松平直政 (結城秀康の第三子) が藩主となり明治まで十代続きます。



安来市立歴史資料館

天守は地下から城内に入ると真っ先に井戸が目に入ってきます。 随所に狭間や石落とし、石打棚など防御装置が数多くあり、籠城戦 を想定した造りがうかがわれます。昭和の解体修理工事(昭和 25~ 30年)で初代藩主の堀尾家の家紋・分銅紋と「富」の文字が入った 刻印があることが確認されました。松江城築城には広瀬の富田城の 部材が転用されたことが分かります。帰りには富田城の安来市立歴 史資料館にも立ち寄りました。近くには堀尾吉晴のお墓があります。 移封先の堀尾家の動きを知り得たのはよい収穫です。

中ブロック 柳本幸子

1月のガイド活動 ≪明るく楽しくやらまいか≫

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

≪浜松城≫

26日 木 東海テレビ

≪犀ヶ崖資料館≫

*団体入場なし

≪浜松まつり会館≫

8名 20日 金 JA あいち三河年金友の会葵地区 53名

22日 日 ボーイスカウト浜松第12団ビーバー隊 55名

はままつ案内人会報 247号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会 〒430-0946 浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL 053-456-1303 メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人





